

# がん化学療法レジメン登録票

レジメン名	BV + nivolumab
診療科名	血液腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	再発・難治性のホジキンリンパ腫
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	HL-008
登録日・更新日	2020年8月25日
削除日	
出典	Blood. 2018 ;131:1183-1194.
入力者	伊勢崎 竜也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	プレントキシマブ ベドチン(遺伝子組換え) (アドセトリス点滴静注用)	50mg	1.8mg/kg **	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	30分	day1
	生理食塩液	100mL*				
No.2	ニボルマブ(遺伝子組換え) (オプジーボ点滴静注)	240mg,100mg,20mg	240mg/body	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CV <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	30分以上	day8
	生理食塩液	100mL				

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能(1日) ・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<p>【プレントキシマブベドチンの減量・中止基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●好中球減少症 1,000/mm<sup>3</sup> 以上 1,000/mm<sup>3</sup> 未満 ・同一用法・用量で、投与を継続する。 ・ベースライン又は1,000/mm<sup>3</sup>に回復するまで休薬する。</li> <li>●末梢神経障害 Grade 1(機能障害はなく、知覚障害、反射消失のみ) ・同一用法・用量で、投与を継続する。 Grade 2(機能障害はあるが、日常生活に支障はない)またはGrade3(日常生活に支障がある) ・ベースライン又はGrade1以下に回復するまで休薬する。回復した場合は、1.2mg/kgに減量して投与を再開する。 Grade 4(障害をきたす感覚ニューロパシー、生命を脅かす又は麻痺を来す運動ニューロパシーがある) ・投与中止する。</li> </ul>
前投薬	なし
その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最大4サイクルまで</li> <li>・2サイクル目以降は同日に投与してもよい</li> </ul> <p>【アドセトリス点滴静注用】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*希釈後の薬液濃度が0.4~1.2mg/mLとなる液量とする</li> <li>**体重が100kgを超える場合は100kgとして計算する。</li> </ul> <p>【オプジーボ点滴静注】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インラインフィルター(0.2又は0.22µm)を使用する。</li> <li>・希釈後の最終濃度0.35mg/mL未満では、本剤の点滴溶液中の安定性が確認されていない。</li> </ul> <p>【免疫チェックポイント阻害薬を使用する際の注意事項】を参照</p>

記入者	伊勢崎 竜也
確認者	寺尾 俊紀